

〔奨励賞 学術文化部門〕

おのうえ・てつじ

1. 氏名 尾上 哲治氏
2. 年齢 47歳
3. 肩書 九州大学大学院理学研究院教授
4. 住所 福岡県糸島市

※年齢は2024年11月3日時点



【受賞理由】

近年、地球への宇宙物質流入が生命の必須元素をもたらし生命進化を促したとする説や、反対に短期間での大量の宇宙物質流入が寒冷化や生物絶滅を引き起こしたとする説が注目を集めている。こうした中、日本の深海底の堆積岩を対象に、地質時代における宇宙物質流入量の時間変化を復元するための年代決定手法と化学分析技術を開発。過去3億年間の堆積岩から、これまで未報告の小惑星衝突イベントを2件、宇宙塵（じん）の大量流入イベントも2件発見した。これらのイベントが発生した時代には、突発的な化石の絶滅や進化が記録されており、宇宙物質流入量の変動は、気温や大気組成の変動と同じく、地球生命史において重要な役割を持つことを示した。こうした成果は、地球科学と惑星科学の境界領域を開拓するための先端研究と位置づけられるとともに、開発した手法は国際的な大型研究や、海底鉱物資源の成因研究・探査計画など幅広い研究分野に寄与することが期待される。また、生物の大量絶滅について一般向けにミステリー調の著書を執筆し、地学の魅力を伝えている。地学を履修する高校生が減る一方、地球温暖化や異常気象などを見据えた地道な基礎研究の重要性は高まっており、光を当てるべき取り組みである。

【主な役職と受賞歴】

2005年	九州大学大学院理学府博士課程修了、鹿児島大学理学部助手、07年助教
2005年	研究奨励賞，日本地質学会
2012年	小藤賞，日本地質学会
2013年	熊本大学 大学院自然科学研究科准教授（16年から同大学院先端科学研究部准教授）
2013年	小澤儀明賞，日本地質学会
2019年	九州大学 大学院理学研究院教授、22年より同大 国際宇宙惑星環境研究センター副センター長 ～現在に至る
2020年	「ダイナソー・ブルース 恐竜絶滅の謎と科学者たちの戦い」（閑人堂）
2023年	「大量絶滅はなぜ起きるのか 生命を脅かす地球の異変」（講談社ブルーバックス）
2023年	令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（研究部門）